

氏名	西村 直道 (ニシムラ ナオミチ)
所属	名寄市立大学保健福祉学部栄養学科
職名	教授
研究室連絡先	電話 01654-2-4199 (2306) FAX 01654-3-3354 E-mail nishimura @ nayoro.ac.jp
ホームページ URL	http://www11.ocn.ne.jp/~nutrbio/

学歴	北海道大学 農学部農芸化学科卒業 北海道大学大学院 農学研究科農芸化学専攻修士課程修了 博士 (農学) 号取得 (北海道大学)
職歴	1993年4月～1999年9月 旭化成工業株式会社食食品研究所 研究員 1998年7月～2001年3月 静岡県立大学食品栄養科学部客員共同研究員 1999年10月～2001年3月 日本たばこ産業株式会社食品研究センター主任研究員 2001年4月～2004年3月 市立名寄短期大学生生活科学科 講師 2004年4月～2006年3月 市立名寄短期大学生生活科学科 助教授 2006年4月～2007年3月 名寄市立大学保健福祉学部栄養学科 助教授 2007年4月～2009年9月 名寄市立大学保健福祉学部栄養学科 准教授 2009年10月～現在 名寄市立大学保健福祉学部栄養学科 教授
学位	博士 (農学) (北海道大学)
免許・資格	
研究分野	栄養生化学・栄養化学
現在の研究課題	ルミナコイドによる高大腸内水素生成とそれによる生体内酸化障害抑制 栄養成分・食品成分による大腸発酵環境の適正化に関する研究
主な担当科目	基礎栄養学・生化学Ⅰ・生化学Ⅱ

研究・教育業績	<p>(著書) *過去5年間, いずれも共著</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 西村直道: ルミナコイド研究のフロンティアー食物繊維・オリゴ糖・レジスタントスターチの最新研究動向ー海老原清、早川享志、奥恒行編著), 第7章 大腸発酵由来のH₂ガスの酸化障害抑制, 建帛社 (2010) ・ 西村直道: 大豆のすべて (喜多村啓介、今泉勝己、国分牧衛、森友彦、廣塚元彦、福田洋一編著), 第5章第1節第6項 腸内フローラ (難消化性タンパク質と腸内フローラ), サイエンスフォーラム (2010) ・ 西村直道: 健康を考えた生化学・生理学実験 (坂上茂, 人見英里, 長坂祐二編著), SECTION 5 核酸に関する実験, pp.72-85, アイ・ケイコーポレーション (2009) ・ 西村直道: 新基礎栄養学 第7版 (吉田勉, 石井孝彦, 篠田粧子編著), 第4章消化吸收, pp.41-72, 医歯薬出版 (2009) ・ 山本克博, 小原効, 金澤康子, 佐々木胤則, 西村直道, 水野佑亮: はじめてみよう生化学実験 (山本克博編著), 三共出版 (2008) ・ 西村直道: メタボリック症候群と栄養, 第8章第5項メタボリック症候群と食品機能-高脂血症関連 (横越英彦編著), pp. 187-200, 幸書房 (2007) <p>(主要学術論文) *過去5年間 (一部掲載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Naomichi NISHIMURA, Tatsuro YAMAMOTO, Toru OTA: Taurine feeding inhibits bile acid absorption from the ileum in rats fed a high cholesterol and high fat diet., <i>Adv Exp Med Biol</i>, 643, 285-291 (2009) ・ 西村直道: 食物繊維およびタウリンの血中コレステロール低下機構に関する研究. 日本栄養・食糧学会誌, 61, 11-19 (2008) ・ Akiko TAMURA, Yuki MITA, Norihiro SHIGEMATSU, Hiroshi HARA, Naomichi
---------	--

	<p>NISHIMURA: Different effect of difructose anhydride III (DFAIII) on caecal microbiota as compared to inulin-type fructans in rats, <i>Arch. Anim. Nutr.</i>, 60, 358-364 (2006)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Vinh Nien LAM, Wen CHEN, Kazuhito SURUGA, Naomichi NISHIMURA, Toshinao GODA, Hiroaki ODA, Hidehiko YOKOGOSHI: Effects of taurine on mRNA levels of nuclear receptors and factors involved in cholesterol and bile acid homeostasis in mice, <i>Adv Exp Med Biol</i>, 583, 193-202 (2006) • Vinh Nien LAM, Wen CHEN, Kazuhito SURUGA, Naomichi NISHIMURA, Toshinao GODA, Hidehiko YOKOGOSHI.: Enhancing effect of taurine on CYP7A1 mRNA expression in Hep G2 cells, <i>Amino Acids</i>, 30, 43-48 (2006) <p>(外部資金導入) (平成 22 年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 平成 22 年度科学研究費補助金基盤研究 C (日本学術振興会), 食事導入期のタンパク質栄養の制御による正常な大腸内環境の構築・継続, 研究代表者 • 平成 22 年度イノベーションシステム整備事業 地域イノベーションクラスタープログラム都市エリア型 (発展) (文部科学省)「食の機能性・安全性に関する高度な技術開発とその事業化によるアグリ・バイオクラスターの形成 (バイオサイエンス、環境) ー十勝エリア」共同研究者 (平成 21 年度) 一部掲載 • 平成 21 年度科学研究費補助金基盤研究 C (日本学術振興会), 食事導入期のタンパク質栄養の制御による正常な大腸内環境の構築・新規, 研究代表者 • 平成 21 年度地域資源活用型研究開発事業 (経済産業省), 新乾燥技術による高機能な名産アスパラガス調製残渣粉末の開発, 共同研究者 • 平成 21 年度北海道重点領域特別研究 (北海道), アスパラガス調整残渣の機能性成分を活かした加工食品の開発, 共同研究者
学会活動	<ul style="list-style-type: none"> • 日本栄養・食糧学会正会員 (1990 年～現在) • 日本農芸化学会正会員 (1990 年～現在) • Hindgut Club 運営会議委員 (2001 年～現在), コンビーナ (2007 年) • 2005 年度日本農芸化学会大会実行委員 (2002 年～2005 年) • 日本食物繊維学会正会員 (2004 年～現在), 評議員 (2007 年～)
社会活動	<ul style="list-style-type: none"> • (社)上川北部地域人材開発センター運営委員会調理師試験事前講習会講師・栄養学 (2002～2009 年) • 栄養情報担当者(NR)養成講座講師「栄養・食品学特論」, 学際企画 (2006 年)
受賞	平成 19 年度日本栄養・食糧学会奨励賞受賞
コメント	<p>(研究) 食物繊維やレジスタントスターチのようなルミナコイドの大腸内発酵によって発生した水素の生体内抗酸化作用について研究しています。そのほかに、大腸内の環境を適正にするため、離乳時に摂取する成分の影響について研究しています。</p> <p>(教育) 栄養学の基礎分野は栄養学科の専門科目の理解にとっても重要です。基礎分野である基礎栄養学と生化学の理解度アップに努めています。</p>